

1月28日（土）1限目「グループワーク④」

担当教員：観光学部観光学科

多田 充 教授

グループワーク最終回では、これまでの学びをもとに実際どのようなボランティア活動ができるのかについて、前回グループごとに作成したポスターを用いて発表しました。

子どもと高齢者の交流の場を作る案、高齢者のリアルな悩みを解消する案、地域での交流の場を作り人材発掘などに繋げていく案が挙げられました。

多田教授からの全体の講評では、さまざまなアイデアが出たなかでいずれも「居場所づくり」が共通している事項であると解説があり、これは実際に多くの地域が抱える課題であるとのことでした。

実際の経験に基づく質問やコメントもあり、活発な意見交換が行われました。

